

微積分 II 演習

— 偏微分 (課題: 10/10 まで) —

担当: 佐藤 弘康

問題 7.1.

$$u(x, y, t) = \left(\frac{1}{2\sqrt{\pi t}} \right)^2 \exp \left\{ -\frac{x^2 + y^2}{4t} \right\}, \quad (t > 0, (x, y) \in \mathbf{R}^2)$$

は $u_t = u_{xx} + u_{yy}$ を満たすことを示せ. ただし, $\exp\{x\} = e^x$.

問題 7.2. 水平面を xy -平面とし, 鉛直方向を z 軸として, 山の表面が $z = f(x, y)$ で表されているとする. 地図の上で, この山の登山道が $x = x(t)$, $y = y(t)$ で表されるとすれば, この道の勾配は

$$\frac{f_x(x(t), y(t)) x'(t) + f_y(x(t), y(t)) y'(t)}{\sqrt{x'(t)^2 + y'(t)^2}}$$

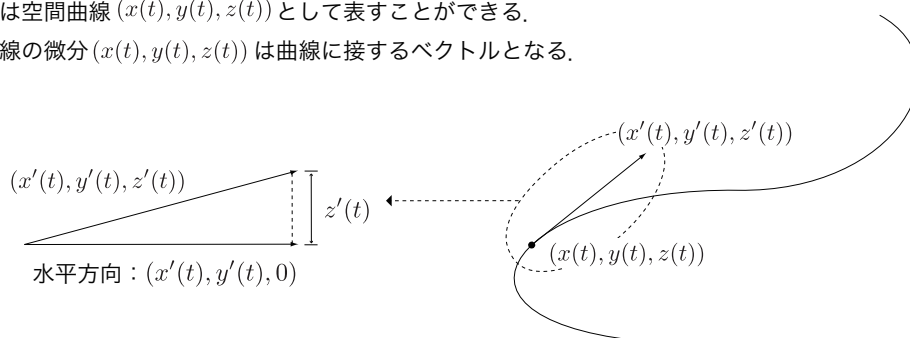
で与えられることを示せ. ただし $f(x, y)$ は全微分可能, $x(t), y(t)$ は微分可能とする.

ここで, 勾配 (**grade or slope**) とは傾斜面の傾きを示す度合いのこと.

水平方向の変化にたいする水平面からの距離の比をいう. 曲線の場合, 接線の傾きと考えてよい.

登山道は空間曲線 $(x(t), y(t), z(t))$ として表すことができる.

空間曲線の微分 $(x'(t), y'(t), z'(t))$ は曲線に接するベクトルとなる.



問題 7.3. $f(x, y)$ を領域 D で定義された C^2 級関数とする (つまり, $f(x, y)$ は D で連続かつ, 2 階までの偏導関数が定義可能でそれも D で連続). このとき,

$$f \frac{\partial^2 f}{\partial x \partial y} = \frac{\partial f}{\partial x} \frac{\partial f}{\partial y}$$

を満たすならば, $f(x, y) = g(x)h(y)$ とかけることを示せ. ただし, $f(x, y)$ は D 上で 0 でないとする [ヒント: 一学期末試験の間 3 (2)].